

パイ

2021年6月発行
VOL.1 夏号



【表紙】御所野遺跡を支える会

御所野遺跡を支える会は、一戸町の御所野遺跡でボランティアガイドや、体験学習、清掃活動などを行っている団体です。会員の得意な分野を活かした活動で御所野遺跡を支えています。写真は御所野縄文公園の清掃活動の様子です。活動の詳細は特集記事をご覧ください。

【特集】つながる・地域の元気「県北編」 2-5

一戸町 御所野遺跡を支える会/NPO法人カシオペア権利擁護支援センター/NPO法人風花/アレルギーケア、くじ	
岩手県からのお知らせ	6
岩手県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センターからのお知らせ	7
NPO活動交流センターからのお知らせ	8
新しい生活様式とNPO活動	9
県活登録団体紹介	10
助成金情報	11
あなたのまちの市民活動支援のみなもと	
NPO法人いわてNPO-NETサポート	12

一戸町 御所野遺跡を支える会

現代に活かす縄文時代の生活
伝える活動コッコツと

の構成資産の一つとして世界遺産
登録を目指し、ついに、令和3年5
月26日に国際記念物遺跡会議

(イコモス)から登録の勧告が
出された。

御所野遺跡がある御所野縄
文公園には、毎年多くの見学
者が訪れている。「御所野遺跡
を支える会」では遺跡のボラン
ティアガイドや清掃活動等の
様々な活動を行う。活動につ
いて高橋陽子副会長からお話
を伺った。

会員のできることで 支える活動

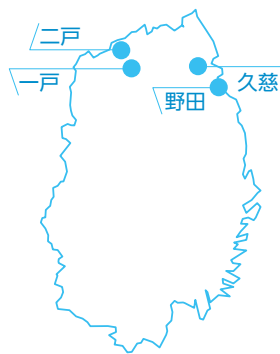
ガイドは4月・10月の土日
と祝日、御所野縄文博物館内
にスタッフが待機し受け付ける。平日
や冬場は事前予約があった場合に
対応する。博物館内の展望室からの
ガイドも行う。

御所野遺跡を支える会の会員は
現在26名。そのうち、遺跡のガイドを
しているのは高橋さんを含め9名。
新型コロナウイルス感染症の流行前
は、毎年2000人を超える見学者

つながる・地域の元気「県北編」

特集

今年度のNPO・ボランティア情報誌PINでは、県内のNPO活動を行う団体を地域ごとに紹介します。夏号は、県北地域から二戸市のNPO法人カシオペア権利擁護支援センター、一戸町の御所野遺跡を支える会、野田村のNPO法人風花、久慈市のアレルギーケアくじの4団体です。また、最終面は県内のNPO活動支援を行う団体として、北上市の「NPO法人いわてNPO-NETサポート」をご紹介します。



御所野縄文遺跡内ガイドの様子

NPO法人 カシオペア権利擁護支援センター

「成年後見制度」を
誰にでも当たり前で身近な制度へ



成年後見人養成講座の様子

任調整等)など、地域の権利擁護促進を
果たす中核機関として活動している。所
長の小野寺幸司さんは、「制度を活かすた
めに、権利擁護支援を行う地域連携ネッ
トワークのさらなる充実が必要。」と語る。
制度啓発などの様々な活動についてお話
を伺った。

地域住民の権利を 擁護するための活動

平成19年から任意団体として活動し、
平成24年にNPO法人となった。住み慣れ
た地域で安心して暮らしていくために、成
年後見制度を活用した権利擁護支援が
重要であると考えている。市町村と協働し
て、住民や医療機関、福祉サービス事業者
などから相談を受け、成年後見の利用に
向けた調整、法人後見活動の相談や地域
住民に対して権利擁護・成年後見制度に
関する啓発、その担い手となる市民後見
人育成等の事業を行っている。

また、二戸地区での権利擁護市民セミ
ナー『この町で安心して、ずうっと、暮ら
したい』を開催するほか、「劇団友蔵と仲間

のガイドをしていたそうだ。観光や勉
強等、そのお客さんの目的にあったガ
イドを心がけている。見学の時間も
希望に合わせているが、もつと聞きた
いと延長する方も多いとのこと。

争いなく1万年も縄文時代が続
いたのは、自然を生かし必要な食料
のみを採り生活していたからだとい
う。「縄文時代の生活を現代に活か
してほしい。」と高橋さんは話す。

現在は、春と秋の清掃活動への参
加や、博物館でのイベント時の手伝
いにも取り組んでいる。また、依頼が
あった際には御所野縄文公園内の植
物観察会や火おこし体験等の体験
学習も行う。活動はそれぞれ会員の
できることを「無理せず楽しく「コッ
コツ」と続けているとのこと。



高橋陽子副会長

平成13年の御所野遺跡を支える
会設立から20年。御所野遺跡を含
む「北海道・北東北の縄文遺跡群」
は着々と世界遺産登録に近づいてい
る。今後の活動について、会員育成や
組織の拡大に加え、「縄文文化の価
値を伝え、地域を巻きこんだまちづ
くりをしていきたい。」とのこと。高橋
さんは「この場所が好きです。」と力
強く語る。ロマン深まる縄文の魅力を
伝える活動に益々期待が高まる。



火おこし体験

たち」として他地域で開催される講座等
に出向き、支援制度活用事例をわかり
やすくまとめ紹介する演劇を披露する
活動も行っている。

成年後見制度は、平成12年に導入され
たが、全国的にあまり利用が進んでいない
という。支援が必要な人がいないのでは
なく、必要な人にこの制度が結びついて
いないと小野寺所長は考えている。今年
度末までに全国の市区町村が身近な相談
支援窓口として中核機関を置くという政
府目標は遅れており、見込み分を含めて
も半数強の市区町村にとどまる。

高齢化の進行により、成年後見制度の
利用のニーズは増加していくと予想され
る。生活の中では、誰もが避けては通れな
い法的な関わりや、様々な契約手続きが
ある。判断能力が不十分な人への支援に、



セミナーでの演劇の様子

課題を解決するため 「つながり」を生かす

法的代理人が関わることは欠かせない。
カシオペア権利擁護支援センターだけだ
なく、弁護士、社会福祉士、行政、医療福祉
機関、金融機関、家庭裁判所など多職種
が連携して対応を進めている。

後見人は、被後見人の財産管理と住
居の確保及び生活環境の整備、施設等の
入退所の契約、病院での治療や入院等の
手続など身上監護を行うが、あくまで中
心は被後見人本人であり、その人らしい
生活を送るためのサポート役として、法
的な権限を担うものである。小野寺所長
は、「成年後見制度の相談に限らず、生
活の中の困りごと、課題を聞く総合相談
窓口になりたい。つながりを生かして、今
後は学校、子ども分野の連携等も含め、
住民の福祉の総合支援機関となるよう
取り組んでいきたい。」と話す。住民の
安心の実現に向けたセンターが担う役割
は大きい。



小野寺幸司所長



放課後等児童サービスとの
芋ほり交流会の様子

障がいを持つ方の 生活を手助け

事業所では敷地内の畑での農作業や裂き織り、手芸などの活動をしている。農家から依頼があれば作物の選定作業等も行っている。敷地内で作った野菜は事業所内での食事に使用するほか、毎年12月に開催される「風花まつり」



にぎわう風花まつりの様子

NPO法人風花

地域活動支援センターを運営 地域の障がい者の居場所となる

野田村にある「地域活動支援センター風花」は、野田村唯一の地域活動支援センターとして障がいのある方の居場所となっている。地域活動支援センターとは、障がいを持つ方へ創作活動や生産活動等の機会を通所にて提供し、地域での生活を支援する場だ。NPO法人風花が運営する地域活動支援センターが事業所として開所したのは平成27年。柏木貴美子理事長にお話を伺った。

にて裂き織りなどの作品とともに販売される。「風花まつり」は活動紹介や展示、中学生や園児のダンス披露、フリーマーケットなど盛りだくさんの内容だ。利用者やその家族だけでなく、ボランティアスタッフも多数集まり盛り上がる。

事業所は柏木さんの実家を使用している。スタッフは4名。現在は8名の方が通所している。週2回通所者へ入浴のサービスも行っており、野田村だけではなく久慈市や普代村から来ている方もいるそうだ。

柏木さんが活動を始めたきっかけは、自身の子どもが急性脳炎で障がいを持ったことだという。障がいを持つ方の生活について深く考えるようになり、居場所として事業所の開設を決

多くの支援 心を尽くした事業を

開所時や運営にあたっては、備品の寄付など多くの支援があった。「沢山の支援のおかげで成り立っている。」と柏木さんは支援者とのつながりに感謝する。個人や団体からの支援の他、令和3年度も昨年度に引き続き「北三陸じもつと基金」にエントリー。活動に賛同してくれる方からの共感寄付を受け付ける。

今後、利用者の方へより多くの工賃



柏木貴美子理事長

アレルギーケア・くじ

食物アレルギー児の親の会

災害時対応の不安解消を目指す



食物アレルギーサインゼッケン作成に向けた打ち合わせの様子

会だ。「アレルギーケア・くじ」の代表の日當ます美さん自身も、食物アレルギーのある子の親である。会の活動についてお話を伺った。

食物アレルギーサイン ゼッケンで災害に備える

活動をスタートしたのは平成28年。きっかけは同年の台風10号災害だ。自身が被災したときに、アレルギー児を抱えながら避難所でどう生活すればよいのか不安を感じたという。同じ不安を持つアレルギー児の母親たちと、災害に備えるために活動を始めた。

「食物アレルギーサインゼッケン」は、食物アレルギー児が避難所で着し、周囲に食べられないものがあることを知らせるために作成した。デザインや文字はメンバーが半年以上かけて考えたという。避難所では、保健師や栄養士の聞き取り調査に基づきゼッケンが配布される。関係機関で慎重に協議



食物アレルギーサインゼッケン

を進め、平成29年度から久慈市で運用が開始された。現在は野田村と洋野町でも受け入れられ、各保健センターで保管されている。

また、食物アレルギーへの正しい知識を伝える活動にも取り組んでいる。アレルギーに関する講演会の開催や久慈広域の小学校へ書籍の寄贈を行ってきた。昨年度は、久慈市内の保育施設や小学校等の施設に絵本を贈った。「食物アレルギーはごく普通で、当たり前であることを知ってほしい」と日當さん。

平成30年度には（公財）ソロプチミスト日本財団からの資金援助を受けた。また、活動には「北三陸じもつと基金」が活用され、令和3年度も共感寄付を受け付ける。寄付金を活用して、引き続き、久慈広域への絵本の寄贈を予定している。

正しい知識を持ち やさしいまちへ

東日本大震災の避難所支援をきっかけに、食物アレルギーに対する認識が広まった。一方、食物アレルギーが怖いものだというイメージを持つ方もいる。日當さんは、正しい知識を持つ適切な処置ができれば全く怖いものではないと語る。正しい知識を共通認識として広めていきたい。

また、日當さんは「食物アレルギー児にやさしいまちは、みんなにやさしいまちである」とよく話しているそうだ。食物アレルギー児への対応のように、相手の立場を理解してあげることが「やさしいまち」をつくる。そのために、困りごとや不安なことをクリアにするべく活動を続けていく。



日當ます美代表

岩手県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター事業のご紹介

ボランティアは、自分の関心のあるテーマ、自分にできることから始められるとても身近な活動です。地域や社会をよりよくしていくことに役立つとともに、活動する自分自身も豊かになれるパワーを持っています。感動、喜び、充実感、達成感、知識、技術、人とのつながりなど…さまざまなことが得られることがボランティア活動の魅力です。

今回は、岩手県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センターが実施する主な事業を紹介します。

★岩手県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センターが実施する主な事業★

●いわて車いすフレンズ

県内の工業高校生が中心となって、利用されなくなった県内の車いすを修理・整備し、アジア諸国へプレゼントするボランティア活動で、平成15年度から取り組んでいます。

アジアの国々では、車いすを購入することができず、日常生活に困っている人たちがたくさんいます。その方たちに少しでも役立ちたいという思いを込めて修理活動に取り組んでいます。

●ボランティア体験inいわて

県民が、自分たちの住む地域への理解・関心を深めながら、ボランティア活動の意義を学び、継続的に参加するきっかけづくりを図ること、また、ボランティア体験プログラムの提供を通じて多様な施設・団体の参加を促し、ボランティアの活動機会の裾野を広げ、ボランティア活動に関心を持った方々が、身近な地域でボランティア活動に参加できる環境を整えることを目的に毎年実施しています。

★今年も始まりました★

ひらけ！笑顔のとびら 2021ボランティア体験inいわて

岩手県内各地で、子どもから大人まで誰でも参加できるボランティア活動を集めました。主に高齢者、障がい者、子ども、各種イベントなどに関するボランティアをご紹介します。お好きな方法で、ボランティアを探してみてください。

体験期間：令和3年6月1日～令和4年1月31日

①パソコン・スマホから検索する方法

ボランティア体験 in いわて

体験プログラム検索ができる画面が表示されます。

②最寄りの社会福祉協議会を訪ねる方法

社会福祉協議会の窓口にて「ボランティア体験inいわてに参加したい」とご相談ください。



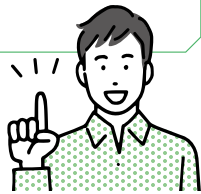
●21世紀スノーバスターズプロジェクト支援事業

積雪量の多い地域で暮らす高齢者や障がい者にとって、自宅周辺の除雪を自力で行うことが困難な場合、生活の質の低下や閉じこもり等の課題につながっていくことが考えられます。

スノーバスターズは、中高生を含む地域住民に参加を呼びかけ、除雪を行うことが難しい住民の自宅周辺の除雪活動を通じて、高齢者等の孤立防止、住民同士の支え合い意識の醸成、世代間交流等を図る取組です。

本会では、県内各スノーバスターズ活動を支援することにより、地域福祉の推進に資することを目的として「21世紀スノーバスターズプロジェクト支援事業」を実施しています。

このほか、企業や各種機関団体向け「ボランティア出前講座」の実施、県内のボランティアやボランティア活動を支援する関係者が参集する「暮らし支えるボランティアの集い」の開催、ボランティアやNPO等との関係づくりを促進することを目的に「ボランティアコーディネーター研修会」の開催等を行っています。



【お問合せ先】岩手県社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター
TEL:019-637-4483
FAX:019-637-7592
「ずっぱりボランティアいわて」
URL <http://iwate-volunteer.jp/>

認定NPO法人取得・更新

新しく認定・更新となった法人はありません。

また、『PIN令和2年vol.4』に掲載した「認定NPO法人遠野・山・里・暮らしネットワーク」(令和2年12月認定更新)の法人名称ですが、正しくは「遠野山・里・暮らしネットワーク」でした。この場にて訂正とお詫び申し上げます。

『認定NPO法人』制度とは

一定の基準を満たしているNPO法人であると認められた場合、認定NPO法人(特例認定NPO法人)として、法人も寄附者も税額控除など優遇措置を受けられます。

問合せ先：岩手県 若者女性協働推進室
認定NPO法人専門員
TEL: 019-629-5199(直通)

事業報告書等の提出について～NPO法人の皆さん！忘れずに提出を！～

NPO法人として認証を受けている団体は、毎事業年度初めの3か月以内に、事業報告書等を所轄庁(都道府県・政令市)に提出する義務があります。提出した書類は、所轄庁において一般の方へ情報公開(閲覧)します。

事業報告書の提出がない場合 ⇒ 地方裁判所へ過料事件通知書を送付(法第80条第5号)
さらに3年以上にわたって事業報告書等の提出がない場合 ⇒ 認証取消し処分(法第43条第1項)

書類は揃ってますか？提出前にチェック！

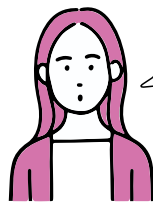
- ☑ 事業報告書
- ☑ 財務諸表(活動計算書、計算書類の注記、貸借対照表、財産目録)
- ☑ 年間役員名簿
- ☑ 前事業年度の末日における社員のうち10人以上の者の名簿



特に気をつけてほしい！財務諸表(計算書類)のチェック！

- ☑ 正味財産の金額は、前期から繰り越しているもの、当期増減の合計、次期に繰り越すもの、資産合計と負債・財産の合計、それぞれが一致しているか。
- ☑ 前期から繰り越しているものなど、報告内容が前年度の内容と矛盾していないか。
- ☑ 財務諸表は、各法人で選択した会計基準に基づいて作成されているか。(※)
- ☑ 財産目録は、貸借対照表の内容を説明するものになっているか。
- ☑ 一般の方にもわかりやすいよう、「計算書類の注記」(何に基づいて計算したか説明するもの)に、必要な事項が記載されているか。
- ☑ 法人で定めた公告場所・方法に基づいて、「貸借対照表」の公告を行ったか。

※NPO法人は、各法人の事業に近い業態の会計基準を選択して財産管理をすることができます。なお、どの会計基準を選択しているのか、「計算書類の注記」として別紙や余白に忘れず記載してください。



団体として、もう活動していないんですけど…



法人の活動終了にも、適切な手続きをとる必要があります。まずは事務所のある市町村の窓口、または広域振興局にご相談ください。

申請書等への押印を不要とします。

NPO法人等が、特定非営利活動促進法に基づいて岩手県に提出する書類への押印を不要とします。

これに伴い、申請書等の様式から押印欄を削除しました。改正後の様式は県ホームページに掲載しています。
【<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/npo/npo/1004652.html>】
※市町村によっては取扱いが異なる場合があります。申請書等を提出する窓口へお問い合わせください。

新しい生活様式とNPO活動 第1回

世界的に流行し、毎日のニュースとなっている新型コロナウイルス感染症。国内でもワクチンの接種が開始され、様々な支援が出されるなど日々動きがあります。なかなか終わりの見えてこない状況だからこそ、日常生活と並行して感染症拡大防止の対策をとっておく必要があります。厚生労働省では、2020年5月から専門家会議の提言を受けて「新しい生活様式」の実践を推奨しています。

昨年度から今年度の活動において、当初の計画通りとはいかず大きく活動が制限された団体は多いでしょう。NPOの多様な活動に、新しい生活様式をどのように取り入れられるのか。現在の社会状況に合わせた活動を行うためにも、あらためて確認してみましょう。

「新しい生活様式」の実践例

厚生労働省が示した実践例について、人との関わりが多いと想定されるNPO活動で特に気を付けたいことを抜粋してご紹介します。詳細は下記厚生労働省のホームページからご確認ください。

(厚生労働省 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html)

(1)一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本

①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い

- ・人との間隔は、できるだけ2メートル(最低1メートル)空ける
- ・外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 移動に関する感染対策
- ・感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える
- ・発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする
- ・地域の感染状況に注意する

(2)日常生活を営む上での基本的生活様式

- ・こまめに手洗い、手指消毒
- ・咳エチケットの徹底
- ・こまめに換気
- ・「3密」の回避(密集、密接、密閉)

- ・毎朝体温測定、健康チェック。
- ・発熱または風邪の症状がある場合は無理せず自宅で療養

(3)日常生活の各場面別の生活様式

食事

- ・持ち帰りや出前、デリバリーも
- ・大皿は避けて、料理は個々に
- ・料理に集中、おしゃべりは控えめに

(4)働き方の新しいスタイル

- ・テレワークやローテーション勤務
- ・オフィスは広々と
- ・会議はオンライン
- ・対面での打合わせは換気とマスク



夏場は熱中症にも気を付けましょう

会議や打ち合わせ、サロン活動など屋内での活動を行う際には換気を意識しましょう。夏場は熱中症対策にも気を付けながら換気しなくてはなりません。エアコンは室内の空気を循環する仕組みであるため、外気を取り込んで空気を入れ替える必要があります。1時間おきに5分～10分の窓を開けた換気が必要と言われていいます。また、マスクの着用により熱中症のリスクが高まります。こまめな水分補給や屋外での活動時は距離をとり、マスクを外す等の対策をとりましょう。

岩手県のホームページでは各支援や相談先を公開しています。ご確認ください。
<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/covid19/1043079.html>

NPO活動交流センターからのお知らせ

SDGs? ESD? CSR? CSV?

社会の変化に伴い新しい言葉が生まれ、いつの間にか定着していたということがよくあります。メディアやインターネットにアンテナを張り、常に知識を仕入れていく必要がある時代だといえるでしょう。無理に新しい用語を使う必要はありませんが、知っておくことで円滑なコミュニケーションにつながります。

テレビCMで企業が発信しているように「SDGs」は最近特に耳にする言葉です。現在は学校でも学ぶ機会があるとか。しかし、SDGsに対応する活動自体は以前から行われてきました。こうした言葉から社会問題への関心を持ち、言葉の意味だけではなく、その先に踏み込んで一人ひとりが社会を考えることが重要ではないでしょうか。

用語の一例をご紹介します。他にも様々な言葉があるようですので調べてみてはいかがでしょうか。



・SDGs 「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」

2030年までに国際社会が解決すべき目標。2015年に国連のサミットにて採択され、貧困や環境、経済等17の目標と169のターゲットから構成されています。世界的に取り組みが広がっています。

・ESD 「Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)」

現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近な活動を通して持続可能な社会をつくるための価値観、能力を養う教育や学習。文部科学省では「持続可能な社会の創り手を育む教育」と表現しています。

・CSR 「Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任)」

企業が利益の追求だけではなく、社会的な信用を得るために行う社会貢献活動。環境保全や地域社会への貢献、IR(投資家への広報)も含まれる。多くの企業がホームページにCSR情報を掲載しています。

・CSV 「Creating Shared Value (共有価値の創造)」

企業が社会的な価値と経済的な価値を両立させるという考え方。企業が果たす責任としての活動であるCSRとは違い、企業の新たなサービス商品として社会貢献を目指すもの。

NPO活動交流センターの基礎講座とNPO・ボランティア活動 なんでも!相談所の開催

NPO基礎講座

- 日時 8月25日(水)「NPO法人設立・申請の方法」／9月22日(水)「理事・監事・事務局の役割」
いずれも ①14:00～15:30 ②19:00～20:30
- 場所 アイーナ6F 団体活動室1
- 定員 各回5名 ※終了後個別相談あり
- 講師 ①久保NPO専門員 ②岩見副センター長 ※内容・講師の変更がある場合があります。ご了承ください。

NPO・ボランティア活動なんでも!相談所(予約制)

- 日時 7月13日(火)／8月10日(火)／9月7日(火)／10月5日(火)
いずれも ①14:00～ ②15:00～ ③16:00～ ④18:30～ ⑤19:30～
- 場所 アイーナ6F 団体活動室1 ※予約制による相談会を開催します。
1枠1時間です。ご希望の時間にご予約下さい。 ■相談員 岩見副センター長
- 申し込み・問い合わせ先 NPO活動交流センター
TEL:019-606-1760 E-mail:n-katsu@aiina.jp URL:www.aiinanpo.org/

助成金情報

これから申請できる助成金情報です。
詳細については、実施団体に直接連絡するかホームページをご確認ください。



2021年度 被災地住民支え合い活動助成 [支援団体/社会福祉法人岩手県共同募金会]

対象団体／県内の復興公営住宅等の被災者を対象に、支援する側として、また住民同士の支え合いとして、次のいずれかの活動を行うボランティア団体(自治会・町内会を含む)、NPO法人、社会福祉協議会等を対象

- ①孤立を防ぐ活動
- ②日常生活を支える活動
- ③コミュニティ再生のための活動

※県内に拠点を置き、県民5人以上で構成されている非営利団体であること

助成内容／県内の復興公営住宅等の住民を対象にした孤立を防ぐ活動、日常生活を支える活動、コミュニティ再生のための活動で、中期的(おおむね3か月以上)に行われる活動

なお、中期的ではない活動(1日・1回限り等の限定的な活動等)であっても、団体自らの復興支援活動につながるものや、新たなコミュニティに移転した被災者の孤立・孤独防止を目的として行う活動も対象

- 申込期間／第3回 令和3年7月1日(木)～令和3年7月31日(土)
第4回 令和3年8月1日(日)～令和3年8月31日(火)
第5回 令和3年9月1日(水)～令和3年9月30日(木)
- 助成金額／中期的な活動の場合(おおむね3か月以上の活動):1団体につき、総事業費の90%以内で27万円を上限
1日限り・1回限り等の限定的な活動の場合:1団体につき、総事業費の90%以内で9万円を上限
- 参考URL／<http://www.akaihan-iwate.or.jp/jyousei/sasaeai.html>

Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs(国内助成) [支援団体/パナソニック株式会社]

対象団体／日本国内の貧困の解消、または貧困と関連のある問題の解消に向けて取り組むNPO

- ・民間非営利組織であること
- ・団体設立から3年以上であること
- ・日本国内に事務所があること
- ・有給常勤スタッフが1名以上であること

※法人格の有無や種類は問いません。一般社団法人・一般財団法人の場合は非営利型のみ。

※財政規模1,000万円以上の団体を想定していますが、要件ではありません

対象事業／●組織診断からはじめるコース

1年目に組織診断によって組織の優先課題と解決の方向性を明らかにした上で組織基盤強化計画を立案し、2年目以降に組織課題の解決や組織運営の改善に取り組むコース

●組織基盤強化コース

既に組織の優先課題と解決の方向性が明らかとなっており、立案した組織基盤強化計画に基づいて、1年目から具体的な組織課題の解決や組織運営の改善に取り組むコース

- 申込期間／令和3年7月16日(金)～令和3年7月30日(金)必着
- 助成金額／「組織診断からはじめるコース」1団体への上限100万円(1年目)
「組織基盤強化コース」1団体への上限200万円(毎年)
- 参考URL／https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/pnsf/npo_summary/2021_recruit.html

特定活動助成「一人ひとりの心に寄り添う“傾聴ボランティア”を応援します」[支援団体/(公財)ユニバール財団]

対象団体／心のケアのための傾聴ボランティアとして活動をしている団体

(自然災害の被災者をはじめコロナ禍で困難な状況にある人等を傾聴)

上記の団体のうち次の二つの条件を満たす団体を対象

- i) 応募に際して、地元社会福祉協議会の推薦を得ること
- ii) 団体として、既に一年以上の活動実績があること

- 申込期限／令和3年7月30日(金)17時必着 ●助成金額／50万円を上限
- 参考URL／<https://univers.or.jp/index.php?civilactgrant>

県民活動交流センター 登録団体活動紹介



NPO法人ウェルネスクラブ・レインボー健康体操で寝たきり0を目指す会

レインボー健康体操は筋肉や骨に加え脳もはたらかせる、介護予防を目的に作られた体操だ。「ウェルネスクラブ・レインボー健康体操で寝たきり0を目指す会」では、主に高齢者を対象にレインボー健康体操で介護予防の指導を行っている。栗石町や盛岡市、滝沢市のほか、いわて県民情報交流センター(アイーナ)の団体活動室も利用して活動続ける。

NPO法人格は2005年に取得。代表の工藤昭敏さんは「社会保険制度を考えると、ひとりひとりの健康づくりが将来の日本や子ども達の為でもある。」と介護予防の影響の大きさを話す。新型コロナウイルス感染症で家にこもる人も増えた。高齢者の体を動かす機会として感染症対策をしっかりと講じ活動中だ。

アイーナでの活動は毎月月曜と金曜、月に4回ずつ。まずは来てみてほしいとのこと。興味のある方は工藤代表(090-3640-6753)まで。



盛岡地区BBS会

BBSとは「Big Brothers and Sisters Movement」。子ども達と近い世代の兄や姉のような存在として交流する更生保護の運動だ。「盛岡地区BBS会」は岩手県内の3大学、岩手大学、岩手県立大学、盛岡大学の学生とそのOB、OGら社会人によって構成される。現在のメンバーは95名。

毎月2回ほど盛岡市を中心に児童養護施設や児童自立支援施設等に伺い、子ども達の遊び相手として触れ合っている。また、毎年クリスマスの時期に少年院を訪問し、クリスマス会でゲームを企画。皆で楽しんでいるとのこと。そのほか児童福祉施設球技大会のスタッフやボランティア団体のイベント参加も行う。

お話を伺った盛岡大学の菊池真優さんは、少年院や児童養護施設等へ訪問する活動に興味を持ち、他大学との交流もできることから活動に参加したそうだ。「訪問先の子ども達が楽しみにしてくれることにやりがいを感じる。」と菊池さん。ボランティア活動を通じて貴重な体験となっている。



あなたのまちの市民活動支援のみなもと

NPO法人いわてNPO-NETサポート



◎DATA…〒024-0061 北上市大通り一丁目3番1号おでんせプラザぐーぶ4階 TEL:0197-61-5035
E-mail:npo@npo2000.net HP:https://npo2000.jp/

北上市を中心に活動

いわてNPO-NETサポート（平成12年4月設立）は、今年度で設立から21年度目を迎える、「中間支援」と呼ばれる活動を行うNPOです。北上市を中心に、市民活動、地域づくりの支援と協働の推進を主な活動としています。

北上市市民活動情報センター事業は、北上市と協働で、市内の市民活動団体や地域づくり組織の活動情報の発信、企業と地域のボランティアマッチング、協働推進に向けた学びの場づくりを行っています。

また、地域計画策定支援も行っています。北上市内にある16の地域づくり組織では、5年に1度、子どもたち、孫たちに残したい地域の姿を確認し、今後の地域づくりの方向性をまとめる「地域計画」を策定しています。「地域計画」を推進するための勉強会を開催するほか、地域ごとの話し合いの場づくりや、住民アンケート等の解析の支援など、それぞれの地域で多くの人が関わりながら地域のビジョンを創っていくお手伝いを行っています。

学びの場がまちを創る

私たちは「学び」が未来のまちを創るエンジンであると考えます。

北上市では、景観行政団体として景観まちづくりに力を入れていく自治体です。当法人では、北上市と協働して、小学校・中学校を対象にした「景観学習」を行っています。家の周り、学校周辺など、普段の生活の中で「すきな景観」「大人になっても残っていてほしい景観」を探しながら、ひとりひとりの地域へのこだわりを画像と言葉で共有する取り組みです。

他にも、市内の高校を中心に「総合的な探究の時間」の実施サポートをしています。高校生ひとりひとりの専門性を活かして、地域で何ができるかを考え、仮説を立て、実際の行動にうつしていきます。地域を学ぶ場として、高校生それぞれの主体的な実践に向けたサポートをしています。

今後、さまざまな場で、「対話による学びの場」をつくり、多様なまちづくりが生まれ、育つ地域に向け、お手伝いをしていきたいと思っています。

（文・NPO法人いわてNPO-NETサポート 事務局 長 菊池 広人）

編集後記

今年度の情報誌PIN夏号は県北地域から4つの団体をご紹介しました。大変興味深く新鮮なお話でした。特に、「自分事になって様々な物事の見方が変わった」というお話が心に残っています。自分一人では気づかないようなことでも、他の人には非常に意味のあることだと気づかれました。相手に寄り添うためには視野を広く持つて接することが必要だと感じました。（H・M）

NPO活動交流センターのHPでは、様々なイベント情報や助成金情報を掲載しています。

みなさまからの市民活動情報や「ピン」への取材依頼もお寄せください。

URL: https://www.aiinanpo.org/ E-mail: n-katsu@aiina.jp

アイーナ N活

検索

Twitter フォローお願いします!!!
https://twitter.com/aiinaNPO

Facebook いいねをお願いします!!!
https://www.facebook.com/aiinaNPO